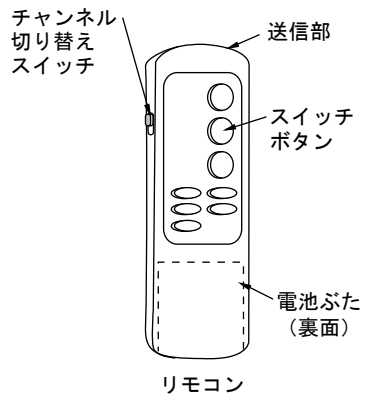
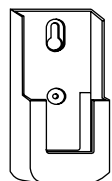
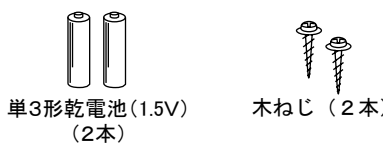
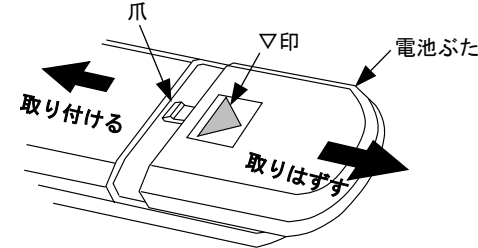
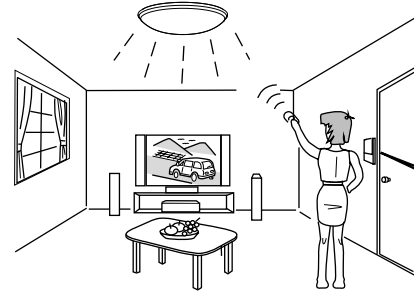


リモコン各部の名称と乾電池の入れかた

各部の名称（リモコン部品）	乾電池の入れかた交換のしかた
 チャンネル切り替えスイッチ、送信部、スイッチボタン、電池ぶた（裏面）、リモコン  リモコンケース  単3形乾電池（1.5V）（2本） 木ねじ（2本）	①リモコン裏面の、電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取りはずしてください。 ②付属の単3形乾電池を⊕ ⊖の表示に合わせて入れてください。 ③リモコンに電池ぶたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。 * リモコンの平均電池寿命は、1日10回の使用で約1年間使用可能です。  爪、▽印、電池ぶた、取り付け、取りはずす ! 長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。 * 液もれによるリモコンの故障の原因となります。 必ず守る ! 注意 ・種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 ・充電式電池は使用しない。 ・使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 * 乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

リモコンケースの使いかた

●リモコンをなくさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。

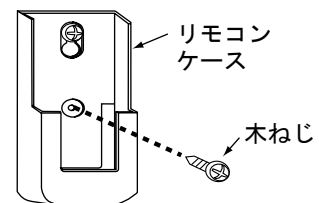


●リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。

●リモコンケースの取り付け場所は、部屋の出入り口付近が便利です。

取り付けかた

●リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本でしっかり取り付けてください。



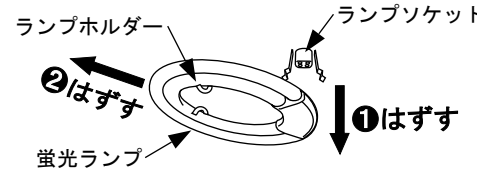
リモコンケース、木ねじ

カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

- ①電源を切ってください。（壁スイッチを[OFF]にしてください。）
- ②カバーを押し上げながら、左にカチンと音がするまで回し、カバーを取りはずしてください。
- ③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。

! 消灯直後の蛍光ランプは熱いので触らない。
* やけどの原因となります。

接触禁止

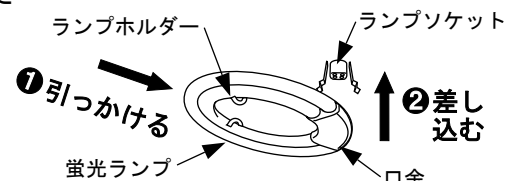


①左回し

②はずす

- ④交換用蛍光ランプをランプホルダーに引っ掛け、口金をランプソケットに差し込んで取り付けてください。

! ランプソケットに合わせて確実に接続する。
●口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
必ず守る * 接続が不完全な場合、火災の原因となります。



①引っかける

②差し込む

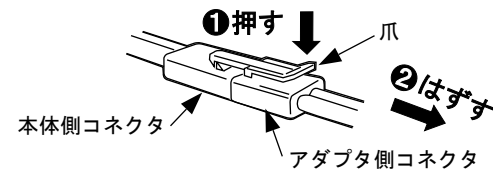
- ⑤リモコンまたは、壁スイッチで点滅操作をおこない点灯確認してください。
* 蛍光ランプが点灯している状態、または、蛍光ランプが切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、交換した蛍光ランプは点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。
- ⑥ランプ寿命お知らせ機能を使用する場合は、リセットボタンを約3秒（電子音が2度鳴ります）押してください。
（累積点灯時間が0に戻り、累積点灯約15,000時間後に再び、ランプ寿命お知らせLEDが点灯します。）
ランプ寿命お知らせ機能については、8ページ **ランプ寿命お知らせ機能について** を参照してください。
- ⑦カバーを取り付けてください。（3ページ、**3. カバーの取り付け** をご参照ください。）

本体のはずしかた

- ①電源を切ってください。（壁スイッチを[OFF]にしてください。）
- ②コネクタをはずしてください。（アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。）

! コネクタをむりやり引き抜いたり、電線を引っばったりしない。
* 電線の破損による感電、故障の原因となります。

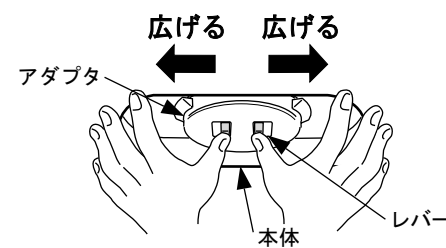
禁止



- ③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。
- ④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー（2ヶ所）を外側に広げてください。

! 本体が落下するので確実に本体を支えながら作業する。
* 手を離しますと本体落下によるけがの原因となります。

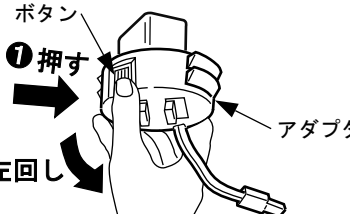
必ず守る



- ⑤アダプタをはずしてください。（ボタンを押しながら左方向に回してください。）

! アダプタをむりやり回さない。
* 配線部品の破損の原因となります。

禁止



- ⑥本体の取り付けかたは3ページ **器具の取り付けかた** を参照してください。